ミュージカンテAMANE　コミュニケーション新聞

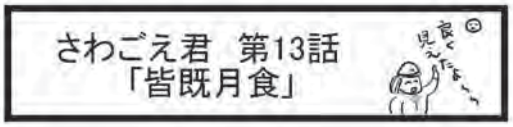
さわ通

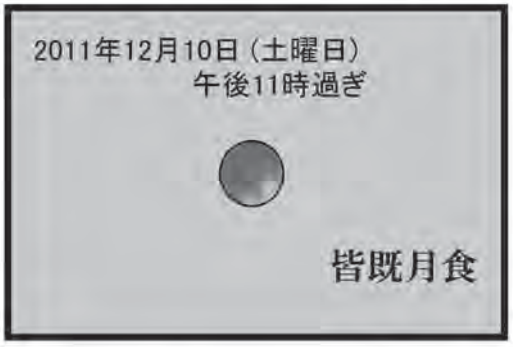
発行人：セキシュウ
2011.12.13
No. 51

〒114-0034 東京都北区上十条3-3-16　TEL 03-3908-8011　homepage　http://www.8011.jp/

「草原三部合唱」 11月23日 朝霞混声合唱団定期演奏会 初演 大好評！

プチコーラスの皆様、朝霞混声合唱団の皆様
応援してくださった皆様　ありがとうございました





おしえて！まっちゃん No.13

その人の名はソクラテス②

自分は何でも知っている訳ではないことを知ることからすべてがはじまる

「人は何のために生きるのか」を突き詰めて考えようとしたソクラテスは、自分自身は物事を全部知っているわけではないから、世の中で偉いと言われている人たちと会って、いろいろなことを教えてもらおうとしたんですね。ところが、「何でも知っている」と言う人が実はあまり物事を知っていないことが分かってきました。ついに、ソクラテスは「全部を知っているわけではない」ことを自分自身が自覚していることのほうが、「全部知っていると思い込む」ことよりもよいことなのだと気がついわけです。

どうしてか？　自分は「物事をあまり知らない」と悟っていれば、知ろうとする気持ちが出てくるから、そのほうが進歩につながるわけです。

そのような試行錯誤と勉強の末に、ソクラテスはついに誰よりもいろいろなことを知っている「賢人」と呼ばれるまでになり、彼の回りには意欲のある若者たちがたくさん集まってくるようになりました。当時の社会を支配している人たちの「目の上のたんこぶ」的存在になり、しまいには裁判にかけられてしまうのでした。

ここからがソクラテスの真骨頂。「ごめんなさい。もう人の前で自分の考えを語りません」と謝まっちまえば死刑にならずにすむのだけれど、ソクラテスは謝らない。

信念のためには死刑も厭わない

「なんでも知っていると自慢する人が実はそれほどの物知りでもないわけで、自分は何でも知っているというのは思い込みにしか過ぎない。だから、自分は知らないことがたくさんあると認めることのほうが正しい。それなのに、そういうことを主張することがどうして悪いことなのか？　自分は当たり前のことを言っているだけで、悪くない！」と主張して、ついには死刑判決が下ってしまいました。

このぐらいの人物になるとファンがたくさんいるもので、中には「先生を脱獄させよう」と計画する人がいて、処刑の前日、牢番を買収して脱獄の手配をした友人がいました。牢屋まで忍び込んでの脱獄の誘いをソクラテスはなんと拒絶。（つづく）

ふりうた忘年会　12月17日（土）20:00～
１年のおつかれさま会。ふりうた未経験の方もどうぞ！
3,000円　１ドリンク　ピアノで独唱後みんなで呑み＆カラオケタイム

プチ・ボイトレ　第６回　講師：斎藤敦子
12月27日（火）13:30～15:30 1,000円誰でも１回だけでもOK

2012年のプチコーラスは 1/17 (火)からになります

<さわうたカレンダー>
太い数字＝さわうた
白抜き数字＝まっちゃんお休み
┅┅ ＝ふりうた
◯ ＝プチコーラス
♡ ＝プチ・ボイトレ
◌ ＝ゆるゆるサロン
□ ＝ふりうた忘年会

2011（平成23）年　12/11～1/7

日	月	火	水	木	金	土
11	12	**13**	**14**	**15**	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	**28**	**29**	30	31
1	2	**3**	**4**	**5**	6	7

＊お知らせ　2011年12月末をもってホスト役のまっちゃんこと木村松夫さんがお辞めになります